

仕様書

この仕様書は、山武郡市広域行政組合（以下「発注者」という。）が委託する山武郡市広域斎場残灰処理等業務委託について必要な事項を定めたものである。

- 1 業務名 山武郡市広域斎場残灰処理等業務委託
- 2 場 所 千葉県東金市堀上1357番地 山武郡市広域斎場
- 3 契約期間 契約締結日から令和7年3月31日まで
- 4 委託要件 次の条件を全て満たす者
 - (1) 山武郡市広域斎場（以下「斎場」という。）における火葬により生じる残灰の分別及び処理が可能であること。
 - (2) 処理施設については、有事の際に組合職員がすぐに駆けつけることができること並びに組合職員が必要時に行う施設検査及び確認が日帰りで出張できるよう、関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）に所在地があること。
※ 処理施設の施設検査及び確認は、原則、第1回目の残灰搬入後に実施する。
 - (3) 斎場から発生した残灰について、他の火葬場分と完全に分離して処理を行うことが可能であること。
 - (4) 残灰中に含まれる有価金属価値相当額として、総額6,450千円（支払方法については第5項第2号に記載）を納入すること。
※ 上記について、客観的に判断できる施設処理工程表、実績表等の資料を提出すること。
- 5 業務内容
 - (1) 残灰の処理
 - ア 斎場から排出された残灰中に含まれる残骨については、火葬された故人の尊厳を尊重することを第一とし、礼を失しない方法により丁寧に扱い、分別後に関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）に所在する埋葬地に全量埋葬すること。
また、埋葬場所については斎場へ書面により報告すること。
 - イ 全ての工程において残灰等は、他の火葬場等から搬入したものが混入しないよう容器・袋等を別にする等、必ず区別して取り扱うこと。
 - ウ 残灰の搬出回数は原則として1回／月とする。（全10回予定）
残灰を搬出する日時は、契約締結後、協議し決定する。
ドラム缶4本～5本／月の見込み
初回はドラム缶10本、フレコン（500kg）2袋程度の見込み

※ 参考 令和５年度実績 年間火葬件数 ２，８０３件
残灰排出数量 ７，１９５kg

エ 残灰の引取りに従事する者の名簿を業務着手前に提出すること。併せて、従事する者の中から１名を代表者として定め、経歴書を提出すること。

オ 業務に着手するまでに、業務着手届（別紙様式１）を提出し、完了したときは、完了した日から２週間以内に業務（一部）完了届（別紙様式２）を提出すること。

カ 契約締結後、必要に応じ、直ちに残灰保管場所に残灰回収容器を設置すること。また、残灰を搬出するときは、代わりの残灰回収容器を設置すること。

キ 残灰搬出時は、組合職員立会いの下作業すること。

ク 残灰運搬時は、飛散しないよう十分注意を払うとともに、万一交通事故等が発生した場合でも残灰等が散乱しないよう車両等にも飛散・転落防止の装備を施すこと。

ケ 残灰搬出後、搬出の作業開始から処理施設への搬入までが時系列的に分かるよう日時を沿えた写真を添付の上、残灰預り書（別紙様式３）に数量及び重量を明記し提出すること。

コ 処理施設搬入後の工程（残骨の選別・粉碎・保管、残骨以外の一次・二次処理等、最終処理物等）は、明確かつ時系列的に分かるよう日時を沿えた写真を添付した残灰処理報告書（別紙様式４）により報告すること。

(2) 有価金属価値相当額の納入

残灰中に含まれる有価金属（金、銀、プラチナ、パラジウム）の価値相当額として、有価金属相当額納入報告書（別紙様式５）を提出の上、次のとおり納入すること。（金額は、消費税及び地方消費税相当額を含む。）

令和６年４月、５月、６月分：１，６１２，５００円

（参考：令和５年度 １，６１２，５００円）

令和６年７月から令和７年３月分まで：毎月５３７，５００円

（参考：令和５年度 毎月５３７，５００円）

また、納入方法は原則として斎場の指定する口座への振り込みとし、振込手数料は受注者の負担とする。

なお、納入期限は残灰搬出日から起算して３週間以内とする。

(3) その他

ア 残灰の処理工程を明らかにするため、業務に着手するまでに処理工程表を提出すること。

なお、組合職員が処理工程等の確認等のため、受注者に協力を求めた場合は、受注者はその求めに速やかに応じること。

イ 埋葬する残骨及びその他の物質は、環境に配慮した方法で処理を行い、9月末と3月末時点における処理状況について、処理状況報告書（別紙様式6）により報告すること。

ウ 作業員の管理、委託業務の遂行に当たっては、熟練した作業員を充てるとともに、本仕様書に基づき業務規律の維持に努めること。

エ 本仕様の業務内容に関し、第三者に再委託を行う場合、業務に着手するまでに業務再委託申請書（別紙様式7）を提出すること。併せて、当該再委託にかかる業務委託契約書の写しを提出すること。

オ 業務上知り得た秘密は、他に漏らさないこと。委託契約終了後においても同様とする。

カ 本仕様に定めのない事項、又は疑義が生じたときは、双方協議して決めるものとする。